



もうぎ ゆう  
舞木 優さん

● 犬伏小6年

幸せを運ぶ  
ファッションデザイナー

私の将来の夢は、たくさんの人を幸せにできるファッションデザイナーになることです。

なりたと思ったきっかけは、お母さんから言われた「手芸や絵をかくのが好きなら、それにあった職業についたら」の一言でした。

服をデザインして、そのデザイン画を元に一から作るとなると、とても難しいことだし、服をデザインするには、想像力豊かでないといけないし、とても大変な職業だけど、私は子どもからお年寄りまで幅広い年代の人たちが着られるすてきな洋服を作りたいです。

みんなの広場に  
出してみませんか？

「キラリ★話題の人」「すてきな仲間たち」「めもと人生」に登場していただける方を募集しています。

自薦・他薦は問いません。

※「すてきな仲間たち」「めもと人生」は隔月で掲載します

■問合せ

政策調整課広報広聴係  
☎(20)3037

◎結婚何年目ですか  
昭和32年に結婚し、今年で55年目です。

◎これまでの印象に残っている出来事は  
結婚し2年目に縫製業を始めました。個人で事業を始めるといふことで、妻には苦労を掛けましたが、これまで協力し合って、家族一丸となってやってきました。

◎夫婦円満の秘訣は  
良お互いが我慢することです。ただ、その前提として、理解しあう・尊重しあう気持ちが必要だと思います。

◎今後の抱負は  
豊これまで、町会長など地域の役職や、現在務めている市の老人クラブの

めもと人生  
meoto life

かたやま とよじ  
片山 豊二さん(79歳)  
よしこ  
良子さん(78歳) 栃本町



働く＝「人が動く」ことでの社会貢献

◎若者へのメッセージを  
一生懸命働いてください。仕事だけでなく、いろいろなところで働くことが社会貢献につながります。

◎一生涯懸命働いてください。仕事だけでなく、いろいろなところで働くことが社会貢献につながります。

◎そして目配り・気配り・心配りの3つを配れる人になってください。

◎これまでの活動を通して感じたことなどを熱く話してください。豊二さん。その様子を静かに見守る良子さんの優しいまなざしが印象的でした。片山さんご夫妻、これからもお幸せに。

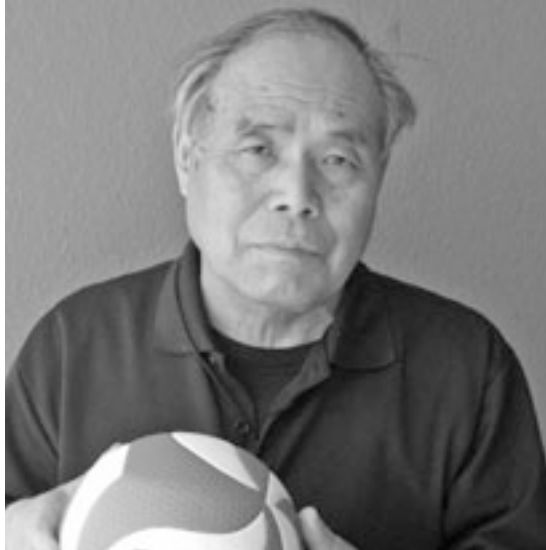
今回の表紙 「第7回佐野市消防操法大会」田沼グリーンスポーツセンターにて

6月10日、佐野市消防操法大会が行われました。

それぞれの仕事のかたわら「自分のまちは、自分で守る」と、日夜、地域の消防活動に従事し、訓練を積み重ねられている消防団員の皆さんが日頃の訓練の成果を披露しました。消防団員の皆さん、日頃の活動、大変ありがとうございます。



おざき みきお  
尾崎美樹生さん  
(多田町)



キラリ★  
話題の「ひと」

○プロフィール  
昭和11年4月24日生まれ  
・佐野高校時代にバレーボールと出会う  
・バレーボール公認指導員  
・たぬまアスレチッククラブ監督

バレーボールと共に

5月の土曜日のアリーナたぬま。小学生の女の子が必死にバレーボールを追いかけていました。そんな中、ひととき大きな声で励まし、指導しているのが尾崎美樹生さんです。

尾崎さんは新合中（現在は統合され田沼西中）に赴任した後、36年間、部活動でバレーボールを指導してきました。そして平成17年より、「田沼南バレーボールクラブ」で女子小学生の指導を始め、現在は改名した「たぬまアスレチッククラブ」（TAC）で日本体育協会と日本バレーボール協会が認めた公認指導員として指導をしています。この資格は全国に通じる地区予選会などに出場するために必要なもので、尾崎さんは古希を過ぎてからこの資格を取得しました。

TACは市内7つの小学校から26人が集まり活動しており、バレーボールだけでなく、大きな声で挨拶ができること、思いやることや我慢すること、感謝する気持ちや、チャレンジ精神の心を育てています。尾崎さんのバレーボールの思い出は、教員時代、体育館のない田沼西中で指導し県でベスト8に残ったこと、安佐中体連・栃中体連より功勞



▲指導する子どもたちと

賞を受賞し、昭和55年の栃の葉国体で競技役員を務めたこと、平成2年に佐野北中に赴任し県大会で強豪・山辺中とベスト4を争ったこと、指導した生徒が全日本中学校海外遠征選手に選ばれ、高校を卒業後は実業団チームで活躍したこと、など尽きることがありません。練習にはかつての生徒が親となつて見学に来ており、尾崎さんがバレーボールと関わった時間の長さがうかがえます。

尾崎さんは公認指導員として指導する理由について「バレーボールの裾野を広げたい。全国レベルの大会に出場させたい。そして何よりバレーボールは生きがいだから」と話してくださいました。尾崎さんが指導する子どもたちが全国、そして世界の舞台で活躍する日も遠くないかもしれません。

(市民記者 中里聖子)

市長からの  
メッセージ



先月10日に佐野市消防操法大会が開催されました。各分団の精鋭たちが一糸乱れぬチームワークで日頃の練習の成果を披露し、誠に見事でした。団員の皆さんは、各自が生業を持ちながら夏季点検や訓練に励み、火災や災害などの際には危険を顧みず地域社会を守ってくれています。団員のご家族を含めて、その頑張りにあたたためて感謝します。県大会でも優勝・上位入賞を期待しています。さて、6月9日、気象庁が関東甲信地方の入梅を発表しました。平年では7月21日ごろ梅雨明けとのことですが、日本は四季があり、自然豊かな美しい国ですが、5月に県内で発生した竜巻をはじめ、梅雨末期の豪雨や台風、地震などの自然災害の脅威にさらされています。本市はこうした自然災害の危険性がどれくらいあるのか、常々心配しておりますが、このたび、元・気象庁長官の小野俊行さんに「佐野市とその周辺の自然災害」という題目でご講演いただくことになりました。当日は、対策が急がれる首都直下型地震と佐野市の関係や、災害が発生した時の対応などをお話しいただけると思います。7月17日(火)文化会館で午後2時からの開催になりますので、多くの市民の皆様に参加いただければと思います。今月27日に第30回オリンピック競技大会がロンドンで開催します。男子レスリング・グレコローマンスタイル96キロ級には本市出身の齋川哲克選手が出場します。齋川選手をはじめ、日本選手の大活躍を期待しましょう。まだまだ蒸し暑い日が続きます。十分に水分・栄養補給をして梅雨を乗り切ってください。

岡部正英